

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

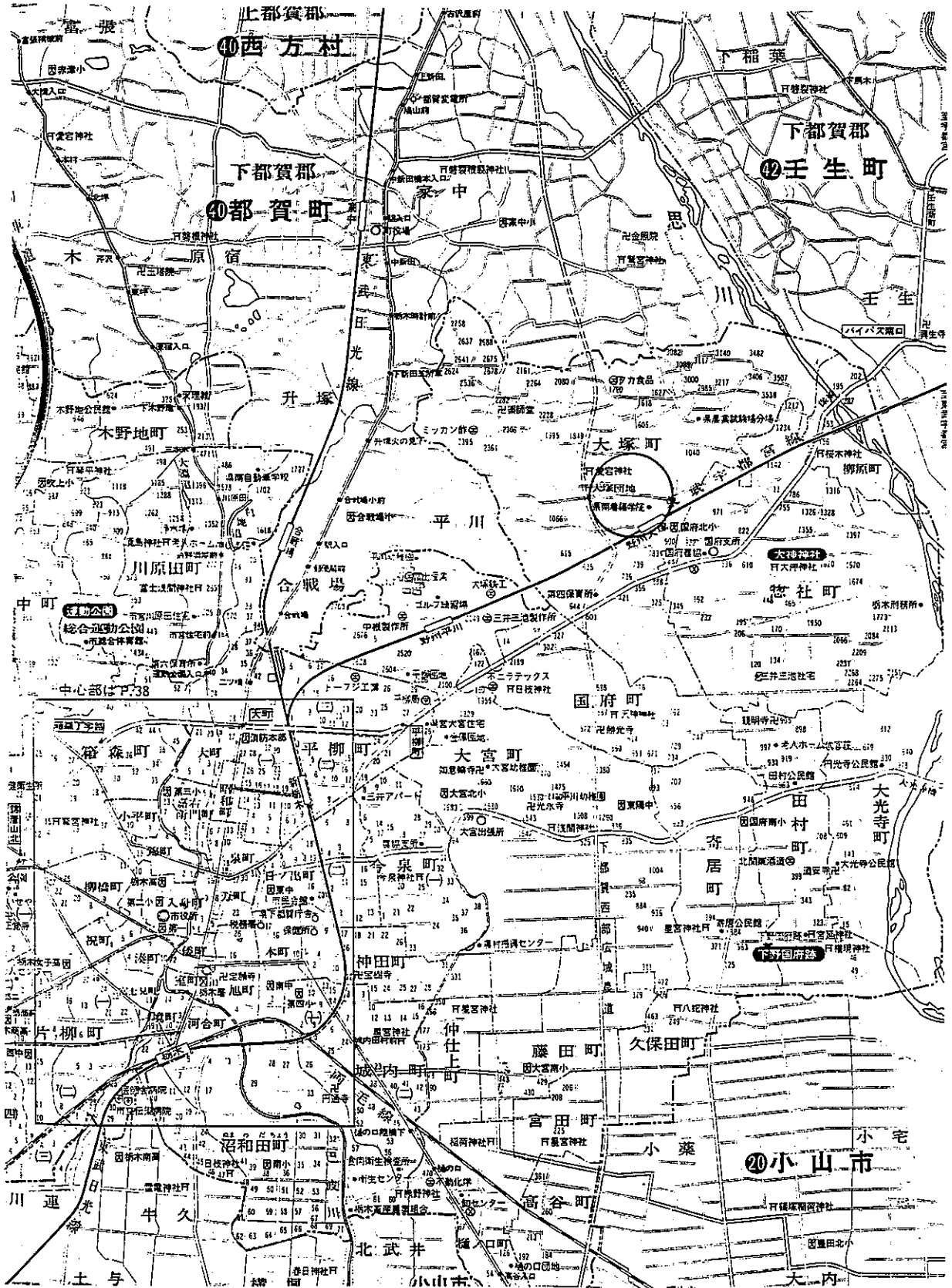
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

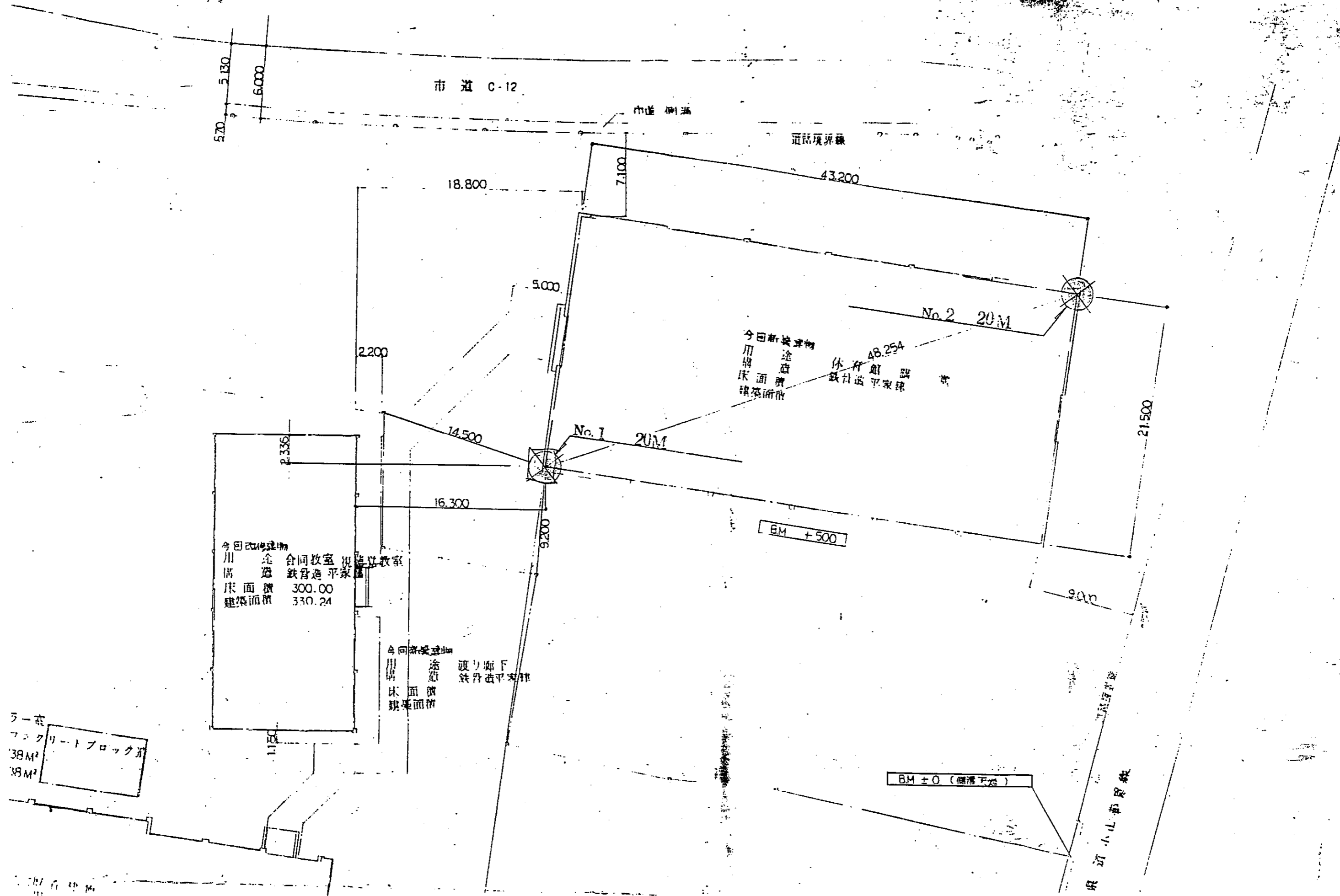
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

2, 案内図

縮尺 1:45,000





土質柱状状況報告用紙

調査名 県南高等看護専門学校体育館兼講堂新築工事に伴う地質調査

調査年月日 / 年 7 月 3 / 日

調査地点 栃木市大塚町1258-4

標高 KBM-0.64 m

/ 年 8 月 9 日

ボーリング孔 No. /

孔内水位(自然泥) GL-4.60 m 調査責任者

機種 KR-100

標尺 m	高さ m	深さ m	層厚 m	土質記号	土質名	観察色調	記録		深さ m	打撃回数	標準貫入試験			採取試料・原位置試験 測定番号 深さ m	原位置試験 方法
							記	事			10cm ことの 打撃回数	74μm通過質量百分率 (%)	N 値		
0		0.30	0.30	表土	表土	暗褐									
1							含水-中位 シルト質土である。 上部植物根混入		37	10	13	14	1.15		
2							含水-中位 礫はφ20~40mm主体 礫間は砂充てん 砂は粗砂で角はった形状を呈す。 所処φ100mm程度の玉石介在する。		30	11	16	16	1.45		
3							玉石混じり 砂	灰	43	17	16	17	2.15		
4							4.0mより含水高くなり 玉石多くなる。 粘土分は少なく透水性 多く崩壊性を有す。		30	27	23	8	3.15		
5							含水-大位 全体に砂分多く、砂は 中砂で粒径均一である 所処にφ5~20mmの円 礫を混入する。 全体に少量の軽石を混 入する。		18	14	14	13	4.15		
6							含水-大位 礫はφ20~40mmの円礫 主体 礫間は砂充てん 砂は角はった形状を呈 す。 所処φ100~150mmの玉石介在する。 11.50mより色調茶褐 になる。 又、角礫状になり礫間 細粒分多くなる。 19m付近より凝灰質 を呈す。		41	7	9	7	4.33		
7							玉石混じり 砂	暗灰	30	19	13	15	5.15		
8		7.80 8.50	0.40		礫混じり中砂	茶褐			23	4	1	2	5.45		
9									30	17	17	16	6.15		
0									50	18	22	10	6.45		
1									25	15	19	13	7.15		
2									50	16	17	13	7.45		
3									30	25	25		8.15		
4									50	16	15	11	8.45		
5									30	10	10	16	9.15		
6									30	23	15	12	9.43		
7									28	15	14	20	9.45		
8									50	25	15	11	10.15		
9									20	16	15	11	10.40		
0									42	16	15	11	11.15		
1									30	10	10	16	11.45		
2									36	23	15	12	12.15		
3									30	15	14	20	12.45		
4									50	25	15	12	13.15		
5									28	15	14	20	13.35		
6									49	25	25		14.15		
7									30	10	10	16	14.45		
8									50	23	15	12	15.15		
9									28	15	14	20	15.45		
0									50	25	25		16.15		
1									30	14	18	18	16.43		
2									49	14	18	18	17.15		
3									30	25	25		17.45		
4									50	14	18	18	18.15		
5									19	15	11	17	18.34		
6									50	14	18	18	19.15		
7									30	15	11	17	19.45		
8									43	15	11	17	20.15		
9									30				20.45		

備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンクウォールサンプラー F: フォイルサンプラー  
P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー  
D: デニソン型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号

土質柱状図 報告用紙

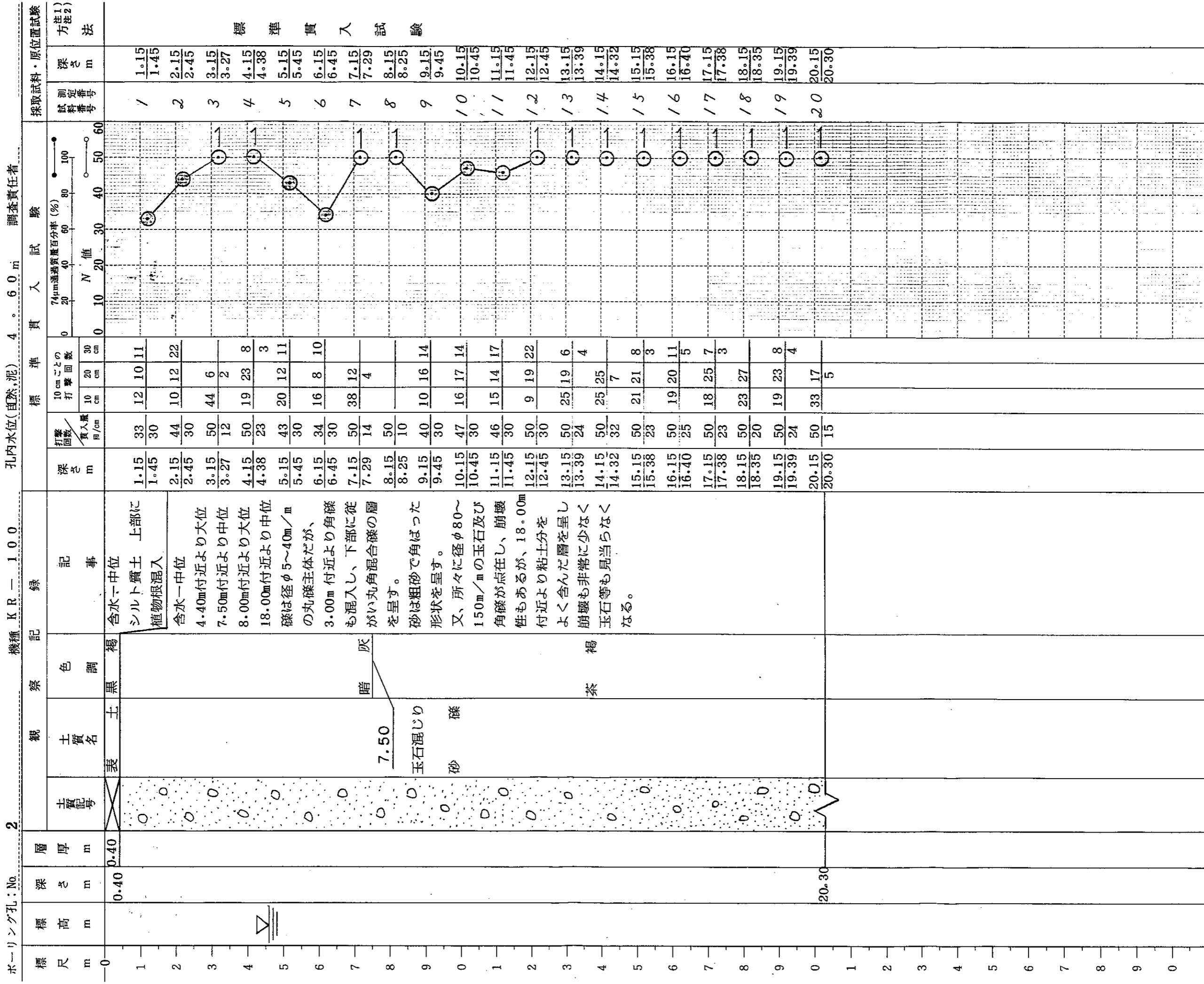
調査名 千葉県南高等看護専門学校体育館兼講堂新築工事に伴う地質調査

調査年月日 年 月 日 / 年 7 月 / 19 日

調査地点 栃木市大塚町 / 258-4

標高 KBM-0.42 m

調査責任者 年 月 日 / 年 7 月 / 28 日



備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンワオールサンブラー F: フォイルサンブラー  
P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーガー  
D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号